



来年春のオープンを目指し、中国横断自動車道尾道松江線の高野インターチェンジ付近に整備している高野観光交流ターミナル(道の駅)の名称が、『道の駅たかの』に決定しました。

選定にあたっては、北海道から宮崎県まで全国各地からご応募いただいた作品394点の中から、市民委員による道の駅管理運営協議会において厳正に審査し、地名をシンプルに表し、分

野所
高支

名称は「道の駅たかの」に決定
高野観光交流ターミナル

かりやすく親しみやすい名称として選定されました。

決定した名称の応募者数は7人で、抽選の結果、広島市東区の古川久生さんへ最優秀賞の賞品を贈呈します。

古川久生さんは「地域と共に発展し、愛されるにはやはりこの名称だと思えます。ご発展を祈念いたします」と受賞を喜んでいました。

総務課

暮らしに役立つ情報満載
庄原市暮らしの便利帳発行

市は、市民の暮らしに役立つ情報をまとめた冊子「庄原市暮らしの便利帳」を株式会社サイネックス(以下、サイネックス)との官民協働により発行しました。

この便利帳は、市の歴史や観光などの地域情報に加え、市役所での各種手続き案内や行政情報などを掲載したA4版フルカラー116ページの冊子で、全世帯を対象に1万8千部を作成。市が情報提供を行い、サイネックスが広告の募集・印刷製本・配布を行っています。

地域の各団体や事業者の皆さまの広告掲載により、市は財政負担をすることなく発行することができました。心から厚くお礼申し上げます。

便利帳はすでに各世帯へ配布していますが、まだ自宅に届いていない場合は、サイネックスまたは総務課行政係までご連絡ください。転入者の方には、



6月29日の発刊の様子。発刊を喜ぶ溝口季彦市長とサイネックス取締役常務執行役員の福西哲男さん

今月から市民生活課各支所市民生活室で配布しています。

「広告・配布に関する問い合わせ」
株式会社サイネックス広島東支店
☎082-876-3971

「便利帳に関する問い合わせ」
総務課行政係
☎0824-73-1123

城西
西支

西城のオフトーク番組が
全国オフトークの研修CDに
ホットライン西城の長年の取り組みが評価

日本全国93のオフトーク放送局が属するNPO法人地域情報推進協議会が作成する、番組づくりの参考になる研修用のCDの題材に、西城町のオフトーク放送「ホットライン西城」が、新潟県上越市とともに選ばれました。

研修用CDは、全国的に注目されている「地産地消」をテーマに構成され、これまでに放送された番組を綴り合わせて作成されます。

今回の選出は、「ホットライン西城」が長年取り上げてきた住民参画によ

性課
女児

「幸せホルモン」で生き生き健康に
男女共同参画笑腹フェスタ開催

輪になれば、笑顔満開腹笑いのテーマに6月24日、庄原市ふれあいセンターで、男女共同参画笑腹フェスタを開催しました。

この催しのメインとなる講演会では、テレビ番組などでおなじみのおおたわ史絵さんが、「現代人の心と体のカルテ」と題し講演しました。

おおたわさんは「ホンマでっか!? T



ホットライン西城の番組収録の様子

る「食と農」の取り組みが評価されたもので、ヒバゴンの寒じめほうれん草レシピコンクールと結果発表、子育て支援施設で行われている西城産の野菜教室、庄原市地産地消推進店の認定を受けた「源喜能業市」などの番組が収録される予定です。



講演するおおたわ史絵さん

V」収録の裏話も交えながら、うつになりやすい人、なりにくい人のタイプを紹介し、医学的な視点から健康について説明。うつを予防する方法として「幸せホルモンと呼ばれるセロトニンをしっかりと出すこと。そのためには、材料となるたんぱく質をしっかりと取り、日光を浴びる。ダンスをするのもとてもいいこと。そして一番簡単で誰でもできるのが、妄想でいいので恋をする」と紹介していました。

講演を聞いた方は「とても勉強になつて楽しかった」「幸せホルモンの出し方を実行してみたい」と声を弾ませていました。

そのほか会場では、かえっこバザール、巨大ダンボール迷路、ハープ教室やスタンプラリー、笑腹市などイベントが盛りだくさん。たくさん家族連れでにぎわい、笑顔があふれる一日となりました。

治課
自振

キーワードは「共感」と「参画」
まちづくり講演会



講演する早瀬さん

庄原市まちづくり基本条例に示す、市民、議会、市の3者協働によるまちづくりを進めるための学習機会とし

て、まちづくり講演会を6月24日、庄原市ふれあいセンターで開催しました。

講師の早瀬昇さん(社会福祉法人大阪ボランティア協会常務理事)が、自身のボランティア経験や震災での体験談を織り交ぜながら講演。「『ほっとかれへん』という自発的な市民の取り組みは、自己責任で動けるから機動性がある。個々の思いが異なるから多彩で、ほかならぬあなたのために動けるから温かい。当事者が声を出すことで課題が明確になり、解決の方向性が定まる。誰もが当事者として、参画の場で見つけ出せる社会づくりが、自治のまちをつくることになる」と話し、軽快な関西弁で来場者を引き込んでいました。

野所
高支

パティシエに学ぶ特産品開発
お菓子づくり基礎講座

来年春の「道の駅たかの」の開業に向け、地域資源を生かした特産品開発を進めるため、庄原ブランドホテルのチーフパティシエ丸岡信太さんを講師に招いた「お菓子づくり基礎講座」を6月19日から7月10日までの毎週火曜日、4回シリーズで開催しました。

託児サービスもあつて、若いお母さんたちをはじめ料理好きな方など25人が参加。クッキーやシフォンケーキの基本から、ほうれん草のパターケーキやアップルパイなど、地元農産物を生かしたお菓子づくりを学びました。



丸岡さん(右)の説明を聞く参加者

参加者は「材料の混ぜ方や生地のおね方など、インターネットや料理本ではよく分からなかった点が、今回、プロの技に触れることができ、とても参考になった。これからさらにお菓子づくりをがんばりたい」と話していました。



真剣に耳を傾ける来場者

今回は、男女共同参画事業「笑腹フェスタ」の同時開催のため、市内でまちづくり活動を行っている方同士の交流の場にもなりました。